



# 日本自動車車体工業会とは

日本自動車車体工業会は、昭和23年(1948年)に発足、会員の企業活動に有用な各種の調査・情報提供や関係省庁・諸団体との連携による環境・安全問題への取り組み、お客様の要望に応える商品づくりのための技術向上支援、海外との交流や国際化への対応などを活動指針に掲げ、車体製造業の発展と産業界ならびに日本経済の発展と国民生活の向上に寄与することを目指しています。会員企業の生産する「働くくるま」は幅広く、特装車、特種車、トラック、バン、トレーラ、バスのほかに小型車体など、日本の経済活動や国民生活のさまざまな場面で活躍しています。

車体工業会はこれらの車種ごとなど8つの部会で各種検討会、共同開発などにも取り組んでいます。



## 環境への取り組み

地球温暖化防止のためのCO<sub>2</sub>排出量削減や資源・エネルギーの使用削減、人体への影響の大きい環境負荷物質の使用削減など、環境改善のための取り組みは社会的なテーマです。日本自動車車体工業会は2000年初頭から、こうしたテーマへの取り組みを推進し、「環境自主行動計画」を策定して関係団体と連携しさまざまな取り組みを行っています。主な取り組みは「商用車架装物リサイクル」「生産における環境保全」に取り組んでいます。

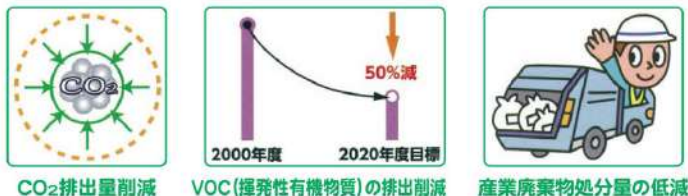
### ◆商用車架装物リサイクルへの取り組み

リサイクル法の対象外である架装物のリサイクル・適正処理の推進を行い、環境に優しい車体であることの証としてラベルを設定し、架装物に貼付しています。また、このラベルは環境省ホームページ「環境ラベル等データベース」へ登録され掲載されています。



### ◆生産における環境保全

生産活動における環境への負荷を低減し、地球温暖化の防止を行い環境保全に努めています。



2018年は  
目標値を  
達成

## 安全への取り組み

## 働くくるまのなかまたち

### ◆安全基準適合ラベルの制定

日本自動車車体工業会の会員が取り扱う車種は、用途や仕様によりさまざまであり、安全問題への対応は一律ではありません。そのため車両法規はもとより、当会自主基準を定め、製品ごとの安全・安心確保に取り組み、その証としてラベルを設定しています。

#### バス難燃性内装物適合ラベル



#### タンクローリ適合ラベル



#### 機械式ごみ収集車の昭和62年安全基準適合ラベル



#### ダンプセミトレーラ構造物要件適合ラベル



### ◆点検整備の普及およびステッカーの設定

お客様に安全に安心して永く架装物をお使いいただくために、当会の共通の架装物の安全点検制度を制定し、点検整備の普及に取り組み、その証としてステッカーを設定しています。

#### 点検制度適用ステッカー



#### 架装物年次点検ステッカー



### ◆トレーラ横転事故への取り組み

トレーラでは、カーブや車線変更の際のスピード超過などにより車体が限界を超えて傾いて横転につながる危険性が高くなる特徴があります。こうしたトレーラ特有の挙動を適正にコントロールするのが、横転抑制装置(ROC=Roll Over Control)です。現在、トレーラを使用するお客様などにROCの有効性を説明し、装備車両の普及を図っています。